

## 総合診療科 後期臨床研修プログラム (2005.12.27 現在)

### 概要

総合診療部は、平成17年度に設置された新しい部門であり、平成18年1月から外来診療を開始する。このため、研修に関する詳細は今後更に検討を要するが、後期研修としては、①各科の後期研修医の短期研修と②プライマリ・ケアを専門領域とする **generalist** の養成を行う予定である。ここでは②の研修プログラムについて基本的な構想を示す。**Generalist** としての研修と進路を拓く意欲を持った医師の応募を歓迎する。

### 応募資格

平成18年春に初期臨床研修（2年）を修了予定の医師  
（臨床研修経験が2年を超える場合には別途相談）

### 研修期間

3年間（関連病院での研修期間を含む）

### 一般目標

- 1) プライマリ・ケアを専門領域とする **generalist** に必要な能力を修得する。
- 2) 日本内科学会認定内科医を取得すると共に、同専門医ならびに日本プライマリ・ケア学会専門医の取得に備える。
- 3) 総合内科医、家庭医、僻地・離島医療、国際医療協力、医療者教育など、**generalist** としての後期研修修了後の進路を計画し準備する。

### 具体的目標

#### 1) 行動目標

##### ①診療能力

患者の日常的な健康問題の大半に非選択的に対応する。

緊急性の高い疾患・病態の患者に対して一次救急的診療を行う。

頻度の高い慢性疾患・病態の患者に対して専門医と協力して継続的に診療する。

患者の身体面だけでなく心理・精神面にも常に配慮して診療する。

患者の生活・家族・地域・倫理など社会的な面にも常に配慮して診療する。

保健・予防からリハビリ・在宅ケア・福祉までを視野に入れて診療する。

各領域の専門医・医療職や保健・医療・福祉資源と連携して診療する。

##### ②学習・教育・研究能力

**generalist** として幅広く継続的に学習する。

研修医、学生、医療スタッフに対して、基本的臨床能力をわかりやすく指導する。  
患者やその家族に対して、診療に必要な指導や説明をわかりやすく行う。  
BLS+AED、ならびにACLS（ICLS）のインストラクターとなる。  
診療や学習の中から研究テーマを見つけて学会などで発表する。

### ③管理能力

医療現場での標準的な安全管理を実践する。  
医療チーム、患者家族、地域の人的資源と良好な関係を構築する。  
保険診療や経費など、医療経済を考慮に入れて診療する。  
自分自身の生活や進路について自主的に計画し実践する。

## 2) 経験目標

### ①診療での学習機会

診断がついていない外来初診患者への診療を数多く経験する。  
患者の日常的な健康問題への診療を幅広く経験する。  
一次救急患者への診療を数多く経験する。  
慢性疾患・病態の患者への継続的な診療を経験する。

### ②その他の学習機会

保健・医療・福祉を包括的に実践している地域や施設で研修する。  
各領域の専門医による指導を受けつつ **generalist** からも継続的な指導を受ける。  
後期研修修了後の進路のモデルとなる診療現場で研修する。  
教育・研究に関する各種研修会に参加する。

## 研修スケジュール

### 1) 1～2年目

#### ①総合診療部での研修

全体の約 1/2 の期間は総合診療部の外来・病棟で研修する。この期間に各種検査手技や専門各科の外来診療の研修を部分的に組み込む。研修会への参加や研究活動や学会発表は、この期間を中心に行う。

#### ②他科での研修

残りの期間は内科を中心とした他科でローテート研修をする。後期研修修了後の進路に応じて研修内容を調整する。

### 2) 3年目

原則として、後期研修修了後の進路のモデルとなる診療現場(中小病院の総合内科、地域の診療所、僻地・離島の医療機関、国際医療協力機関、医育機関など)で研修する。

## 指導体制

### 1) 総合診療部での研修

### ①外来

毎日の外来終了後にカルテチェックを行い、研修医が診療した患者の全例について指導医が診療内容を確認し指導する。特に外来研修開始当初は、診療中に1例毎に指導する。症例検討会やトピック毎の勉強会でも指導する。

### ②病棟

指導医が研修医とペアになり入院患者を受け持ち指導する。外来と同様に、症例検討会やトピック毎の勉強会でも指導する。

### ③教育・研究

教育能力や研究能力については、具体的なテーマに応じて指導医が直接指導すると共に、各種研修会に参加する機会を提供する。

## 2) 他科での研修

他科で研修している期間には、週に1回程度の頻度で総合診療部の指導医が研修医と会う機会を設定し、研修や生活や進路などについて相談に乗る。

## 3) 大学外での研修

後期研修修了後の進路のモデルとなる診療現場で研修している期間には、月に1回程度の頻度で総合診療部の指導医が研修医と会う機会を設定し、研修や生活や進路などについて相談に乗る。

## 資格取得

- 1) 日本内科学会認定内科医(必要な研修期間：3年以上)を後期研修期間中に取得する。
- 2) 日本内科学会認定内科専門医(必要な研修期間：6年以上)、ならびに日本プライマリ・ケア学会専門医(必要な研修期間：5年以上)を取得する準備をする。